

米沢興讓館高校SSH通信

2年探究科国際交流研修【校内研修】

例年行っている探究科海外研修は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い3月3日(水)～3月5日(金)の日程で、校内及び省内での研修に代替し実施しました。3日の校内研修については下記の内容で実施しました。

- 午前 開講式
 基調講演「生きること・学ぶこと～ルワンダの悲劇から学んだこと～」
 永遠瑠(とわり) マリールイズ 氏(ルワンダの教育を考える会)
 OB・OGによる先輩との交流
 宮澤 優氏(JAXA宇宙探査イノベーションハブ) 井上 尚人氏(株式会社エル・ティー・エス)
 長濱 澄氏(東京工業大学 教育革新センター) 菅野 摩耶氏(ANA)
- 午後 国際探究科 マレーシアの高校Sekolah Tun Fatimah(STF)とのオンライン交流
 理数探究科 OB・OGによる先輩との交流
 大木 優氏(株式会社TechBowl(エンジニア)) 紺野 大地氏(東京大学大学院医学系研究科老年病学教室)
 武 真祈子氏(京都大学霊長類研究所) 羽生田 光志氏(ハウス食品グループ本社株式会社)
 土屋 圭氏(株式会社ディー・エヌ・エー システム本部 IT 統括部)

学べる幸せ

2年国際探究科 女子

私は幸運にも、戦争が起こること、教育が十分に受けられないこと、食べ物がないこと、これらのどれも経験したことがありません。これらを経験し、知る講師の方から拝聴した今回の講話は衝撃の連続でした。ニュース等で世界のどこかで戦争が起こっていることも、教育を受けられない人がいることも、食べ物がない状況にある人がいることも、存在しているということは知っていました。しかし、それらを経験した方から聴くことで曖昧だった「ある」という認識が本当に「ある」んだな、と強い実感に変わりました。それと同時に十分に教育を受けられるのがどんなに幸せか、学ぶことがいかに大切であるか、を感じることができました。学んだことは絶対に役立つ、生きている限り学ぶことができる、この2つが今回の講話でとくに印象に残っています。この2つを胸に刻んで、十分に教育を受けられることに感謝してこれからの学びを頑張っていきたいと思います。



異文化理解の経験

2年国際探究科 女子

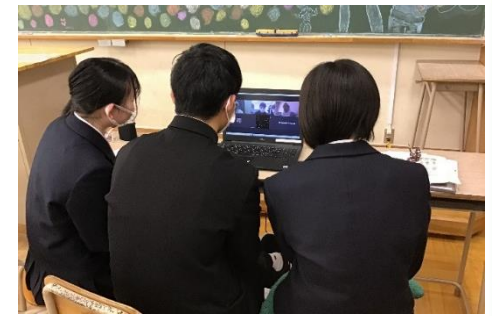
この交流が始まった当初は全て英語でコミュニケーションをとるという方法に加えて、まだ慣れないリモートという形での交流が気がかりになっていた人は私も含め少なくなかったと思います。しかし英語での会話の中で、相手の文化や生活の様子を知ることが出来たときやそれを通して仲を深められたときに、海外交流の楽しさを感じることが出来ました。また最後の交流で行ったグループごとの発表では、色々なテーマにおいて「日本」「マレーシア」という区別を超えた新たな知識を沢山自分の中に吸収することが出来ました。そして本当の意味での「異文化理解」をすることが出来たように思います。最後は別れが名残惜しくなる程の楽しい時間になりました。私たちの貴重な異文化理解の機会を一緒に用意してくださった方々に感謝したいと思います。



先輩方の経験から

2年理数探究科 女子

今回の校内研修で、私たちと同じ環境で学んだ先輩方と交流することで、数年後の自分を具体的にイメージすることができた
 交流を通して、本当にやりたいことや、やるべきことを知り、行動している人はとても輝いていると感じた。交流したどの先輩も、ぶれない軸と行動力を持っていた。その中でも特に武真祈子さんの「門を叩く」という言葉が印象的だった。彼女は、学びたい学問のために新しい環境に一步踏み出し、現在やりたい事をしている。やりたいことに真っ直ぐであること、思っているだけではなく行動に移すことが夢を実現する上で最も重要であると先輩方の経験から学んだ。
 私は、まだやりたいことが少し見えてきた段階なので、これから経験を重ね、それを明確にしたい。そして先輩方のように恐れずに門を叩き、積極的に行動していきたい。



154

山形県立米沢興讓館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

